

9月3日(日)「お月見の会」を実施しました。

秋の気配を感じ始めた9月、心待ちにしていたお月見の会を実施しました。古より続く、お月見の風習についてお話があり、お月様にお供えをするお団子作りと竹のお皿作りに分かれて開始です。お団子をこねて丸める際、お団子の感触に「気持ちいい」という声も聞かれ、個性ある大きさのお団子が完成しました。お団子を茹で、まだ竹の香りが残るお皿にお月様へのお供えと皆さんが頂くお皿に分け「お月様には多め、自分たちは少なく」など色々な声が聞かれ、大切な気持ちで盛り付けました。時間が早く、お月様へお供えは出来ませんでした。持ち帰ってご家族で楽しまれたことだと思います。お団子を準備した後は、地球、月、太陽の位置、大きさ、動きの学習です。参加者がボールを持ち、それぞれの役になり、動きながら地球、月の動きを学習しました。太陽の大きさや地球から太陽までの距離を学ぶと参加者からは驚きの様子でありました。その後、お団子を食べ、月の観察のスタート！フィールドスコープを使い、月の表面を観察すると「見えた」「きれい」「すごい」「宇宙について、もっと知りたくなった」など嬉しい感想が聞かれました。

